



パワーシリコンMX

エムエックス



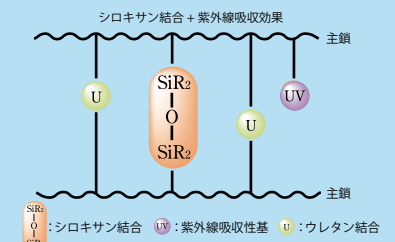
POWER SILICON MX

強さは美しさ...最高クラスの耐久性...

特長

- 超耐久性** シロキサン結合と紫外線吸収機能を有することで、大幅に耐久性がアップし、フッ素樹脂塗料に近い超耐久性を有します。
- 低汚染性** 強靱な塗膜が、優れた低汚染性を発揮します。
- 防カビ・防藻性** 水溶性成分を含まないため、防カビ・防藻性に優れています。
- 幅広い素材に適用** 下塗りを変えることで、窯業系素材、金属系素材ともに適合します。
- 塗り替えに最適** 弱溶剤系で旧塗膜を侵しにくく、幅広い塗り替えに適しています。
- 優れた作業性** 従来の溶剤型塗料に比べ臭気が少なく、優れた塗装作業性を提供します。

●硬化樹脂の構造



紫外線は塗膜劣化の原因とされています。紫外線に対して劣化しにくいシリコン結合と、紫外線を吸収する紫外線吸収基が、今までにない優れた耐久性を発揮します。

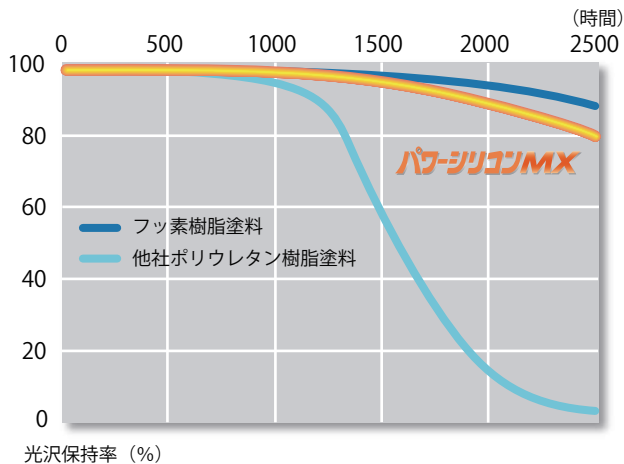
用途

窯業系素材 窯業系サイディングボード、各種仕上げ材の塗り替え塗装
新設、および無塗装のコンクリート・モルタル面の塗装

金属系素材 金属系サイディングボード 鋼構造物 鉄部 亜鉛引き鉄板
その他、非鉄金属面（亜鉛、ステンレス、アルミ等）への塗装

性能

■促進耐候性試験（キセノンランプ法）



■塗膜性能

窯業系素材の場合

試験項目	評価方法	試験結果
鏡面光沢度	JIS K5600 (60度)	84
付着性	JIS K5600 (クロスカット法 2mm幅)	分類0
耐液体性	JIS K5600 (水道水 浸せき法) 23°C×7日間	異常なし
	JIS K5600 (硫酸5%水溶液 浸せき法) 23°C×7日間	異常なし
耐湿潤冷熱繰返し性	JIS K5600 23°C×18h浸せき/-20°C×3h/50°C×3h	10サイクル 異常なし
凍結融解繰返し性	-20°C×16h浸せき/23°C×8h浸せき	10サイクル 異常なし
促進耐候性	キセノンランプ促進耐候性試験 2500h	保持率 80% 色差 ΔE 1.29
耐候性	垂直式屋外暴露試験 大阪 24ヶ月	保持率 96% 色差 ΔE 0.76
引っかかり硬度	JIS K5600-5-4 (鉛筆すり傷法)	B~HB

試験塗板：スレート板 乾燥条件：23°C×7日間
※下塗り材としてマイルド浸透シーラーを塗付しています。

金属系素材の場合

試験項目	評価方法	試験結果
鏡面光沢度	JIS K5600 (60度)	87
耐おもり落下性	JIS K5600 (デュボン式 1kg×50cm×1/2φ)	異常なし
付着性	JIS K5600 (クロスカット法 1mm幅)	分類0
耐屈曲性	JIS K5600 (円筒形マンドレル法)	2mm 合格
引っかかり硬度	JIS K5600 (鉛筆すり傷法)	B~HB
耐中性塩水噴霧性	JIS K5600 ソルトスプレー試験機 500h	異常なし
耐結露白化性	塗装2h後、結露24h試験、2h後、目視判定	異常なし

試験塗板：冷間圧延鋼板（鉄板） 乾燥条件：23°C×7日間
※下塗り材としてRMプライマーを塗付しています。

荷姿

パワーシリコンMX	16kg セット (主剤14kg 硬化剤2kg)
リフレッシュフィラー	16kg
2液マイルドウォールシーラー	15kg セット (主剤14kg 硬化剤1kg)
RMプライマー	15kg セット (主剤14kg 硬化剤1kg) 常備色3色：グレー (日塗工N-55程度)、赤さび (日塗工09-40L程度)、白
RMシンナー	16L・4L ※シンナーはA (春秋型)、S (夏型)、W (冬型)、W速乾型があります。

窯業系素材

■平滑仕上げ、下地パターンを変えない場合

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物 (ゴミ、ホコリ、苔、カビ、油脂類) をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。									
下塗り	2液マイルドウォールシーラー 主剤10kg 硬化剤1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	1 (~2)	*1 0.1~0.15	73~110	10h以内	(4h以上)	5h以上 7日以内	—
上塗り	パウ・シリコンMX 主剤14kg 硬化剤2kg	1~3L	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	57~67	5h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		3~5L	エアレス							

*塗付量にはシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
*1下地の吸込みが激しい場合は、2液マイルドウォールシーラーを2回塗り、もしくは「リフレッシュサフェーサーエポ」を塗装してください。

■ざざ波模様仕上げ、下地調整を必要とする場合

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物 (ゴミ、ホコリ、苔、カビ、油脂類) をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。									
中塗り	リフレッシュファイラー 16kg	0.2~0.5kg (希釈水)	砂骨 ローラー	1	0.8~1.5	11~20	—	—	16h以上	—
		0.8~1.6kg (希釈水)	中毛 ウールローラー		0.3~0.5	32~53				
上塗り	パウ・シリコンMX 主剤14kg 硬化剤2kg	1~3L (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	57~67	5h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		3~5L (RMシンナー)	エアレス							

*塗付量には希釈水、シンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
*下地の劣化が著しい場合は、下塗りに2液マイルドウォールシーラーを塗装してください。

金属系素材

■平滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。その後、清掃、乾燥させてから塗装する。									
下塗り	RMプライマー 主剤14kg 硬化剤1kg	1~2.5L	ハケ・ローラー	1	0.11~0.15	100~136	4h以内	—	4h以上 10日以内	—
		2.5~5L	エアレス		0.15~0.17	88~100				
上塗り	パウ・シリコンMX 主剤14kg 硬化剤2kg	1~3L	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	57~67	5h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		3~5L	エアレス							

*塗付量にはシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
*さびの発生が著しい場合は、当社営業担当までご相談ください。

■平滑仕上げ：新設、及び無塗装のコンクリート・モルタル面の塗装

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル・PC・RCサイディングボード等の下地に付着しているレイタンス・土砂・ホコリ・油脂類は除去し、水分8%以下、pH10以下に管理する。欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。									
下塗り	2液マイルドウォールシーラー 主剤10kg 硬化剤1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	1 (~2)	*1 0.1~0.15	73~110	10h以内	(4h以上)	5h以上 7日以内	—
上塗り	パウ・シリコンMX 主剤14kg 硬化剤2kg	1~3L	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	57~67	5h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		3~5L	エアレス							

*塗付量にはシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
*1下地の吸込みが激しい場合は、2液マイルドウォールシーラーを2回塗り、もしくは「リフレッシュサフェーサーエポ」を塗装してください。

注意事項

【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高温度 (80%以上)・低気温 (5℃以下) の場合は施工を避けてください。高温度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたることで曇りけを起すおそれがあります。
2. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、自然乾燥を行って再度塗装してください。
3. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
4. 水洗後、1日以上乾燥を行ってください。
5. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは硬い力不足・仕上がりが不良等につながりますのでご注意ください。
6. 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
7. ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面肌質が異なるために若干の色相差がでてきますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
8. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
9. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
10. ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取ってください。乾いた時は、ラッカーシンナーでふき取ってください。
11. 酸洗を行う場合は、水をかけた後に行い、その後の水洗は念入りにしてください。
12. 目地部が深い場合は、目地ハケなどで塗装してください。
13. 目地部に塗料がたまった場合や、たれが発生した場合はむら切りしてください。
14. 塗装時には換気口等に養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないようにしてください。
15. 塗装や塗料取り扱い時には、換気用マスクを付けて火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
16. 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。
17. 汚れ・傷等により補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
18. 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
19. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起すことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗る重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
20. 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは、溶剤系専用のものをご使用ください。
21. 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーの洗浄には、ウレタンシンナーまたはアクリルシンナーをご使用ください。
22. 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
23. 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート (SDS) を参照ください。

【塗料に関する注意】

1. 使用前には充分攪拌してください。
2. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
3. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください (専用シンナーを使用してください)。
4. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合で混合し、マゼンタ等で充分攪拌してください。
5. 2液型塗料は、塗料毎の可使用時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりやすいため、手際よく塗装してください。
6. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
7. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ずRMシンナーを使用してください。
8. 硬化剤はイソシアネート含有しているため、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分ご注意ください。
9. 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
10. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質 (VOC等) に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
11. 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。